

有機フッ素化合物の地下水調査を実施しました

市内地下水の水質を把握するため、令和5年10月に有機フッ素化合物の地下水調査を実施しましたのでお知らせします。調査を行った6地点中、1地点で暫定指針値^{※1}（50ng/L）を超える有機フッ素化合物が検出されましたので、今後、当該井戸及びその周辺井戸で追加調査を実施します。

なお、当該井戸は飲み水には利用されていません。また、当該井戸の半径1km以内におきましても飲み水に利用している井戸は確認されていません。

単位：ng/L（ナノグラム^{※2}パーリットル）

採水地点	井戸区分	PFOS （ペルフルオロ タンスルホン酸）	PFOA （ペルフルオ オクタン酸）	合算値
幸区小向町	浅井戸	10	18	28
中原区下小田中	浅井戸	4.6	8.9	13
中原区下沼部	浅井戸	9.1	8.8	17
高津区北見方	浅井戸	150	17	160
多摩区宿河原	浅井戸	16	7.8	23
多摩区菅稲田堤	浅井戸	6.8	2.8	9.0

（注記）有効数字2桁で処理しているため、合算値は「PFOS」と「PFOA」の合計と一致しない場合があります。

（※1 暫定指針値）

暫定的な目標値（PFOS及びPFOAの合算値）として国が定めたもので、体重50kgの人が、1日当たり2Lの水を一生涯にわたり摂取しても健康に対する有害な影響が現れないと考えられる値として設定されています。

（※2 ナノグラム）

1ナノグラムは10億分の1グラム

本件に関する問合せ先

川崎市環境局環境対策部環境保全課 ちむろ 千室 TEL 044-200-2519